

平成25年度
第1回

和歌山県認知症疾患医療センター研修会

胃ろうなどの技術の進歩によって、医療は人生の最終段階をどう選択するべきかという問題に直面しています。そんな中で昨年三月、日本老年医学会から、「高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン 人工的水分・栄養補給の導入を中心として」が発表されました。これは患者や家族と信頼関係をつなぎながら、倫理的・良心的な医療をスムーズに行えるよう、倫理思想的・法律的な正当性を与えてくれるガイドラインです。

今回はこのガイドラインを作成されたお一人である会田薫子先生に来て頂き、認知症の終末期医療や胃ろうについてお話を頂きます。研修会では、誰一人例外なく訪れる死をどう迎えたらいいいのか、みなさんと一緒に考えたいと思います。

■日時 **平成25年8月31日(土)** 15時00分～17時30分

■場所 和歌山県立医科大学附属病院4階 臨床講堂Ⅰ
和歌山市紀三井寺811-1

■対象者 認知症や高齢者の支援を行っている医療・保健・介護・福祉関係者

■定員 180名

■参加費 無料

特別講演 15:10～16:30

座長 和歌山県立医科大学神経精神医学教室 教授

認知症疾患医療センター長 篠崎 和弘

「認知症の終末期医療とケア —胃ろうで生きるということを考える—

講師 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター

上廣講座 特任准教授 あいた かおるこ 会田 薫子先生

シンポジウム 16:30～17:30

座長 和歌山県立医科大学神経内科 講師 廣西 昌也

「認知症患者の看取り ～いつ どこで どのように～」

・医療法人整友会 安川診療所 院長 やすかわ しゅう 安川 修先生

・和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター緩和ケア部門 部門長/准教授 つきやま よし 月山 淑

・社会福祉法人公風会 特別養護老人ホーム 三寿苑 看護師長 ふじの かず 藤野 佳珠先生

<参加申込方法>裏面参加申込用紙に必要事項を記載の上、8月23日(金)までに、FAXにてお申し込み下さい。(送付票不要)

お申し込み
お問い合わせ先

和歌山県立医科大学附属病院 認知症疾患医療センター
担当(柴田・有田)

電話.073-441-0776 FAX.073-441-0862

